

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0101010100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	子育て情報提供事業	予算事業名	子育て情報提供事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子
取組み事項		育児相談・情報提供体制を充実する		担当者名	牧野 さとみ
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育てを行うすべての家庭			
	誰(何)を対象として	児童及びその養育者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育て中の親に、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点や子育て関連情報の提供を行い、子育て支援を推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て支援を推進するため、子育て中の親に仲間づくりや情報交換ができる地域子育て拠点のイベント情報や子育て関連情報を提供する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	子育て支援センターげんきの参加人数	人	1759	2202	—	—
	子育て学習センターの参加人数	人	11832	11751	12767	13000
	子育てひろばの参加人数	延人数	7997	6598	6089	6500

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.058	0.058	100	0.086	148	0.076	88	
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.200	200	
支出内訳	人件費	1,007,994	995,228	99	1,222,512	123	1,439,945	118	
	事業費	297,864	307,934	103	318,825	104	351,000	110	
	合計	1,305,858	1,303,162	100	1,541,337	118	1,790,945	116	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源	1,305,858	1,303,162	100	1,541,337	118	1,790,945	116	
	合計	1,305,858	1,303,162	100	1,541,337	118	1,790,945	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域子育て支援拠点事業参加延人数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	14800	14900	100.7	13000	87.2	13000	100.0	
	実績	13591	13953	102.7	12767	91.5			
指標名2		子育てひろば参加延人数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	7500	8100	108.0	7000	86.4	6500	92.9	
	実績	7997	6598	82.5	6089	92.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

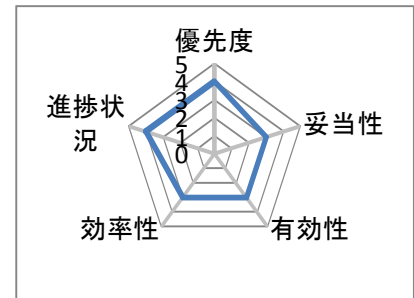
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	子育て支援センターげんきが25年度から廃止になったこともあり利用者は減少となったがその分学習センターの利用が増加した。	3
	市民サービス	身近な場所に子育て支援拠点があることで利用しやすい。	
効率性	執行体制の効率性	子育て支援室が担当することで他の子育て施策との調整・改善が期待でき、効率的に情報提供が行えている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	リアルタイムな情報提供が適切に行えていない



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	多様なニーズに対応するためフォーマル、インフォーマルな子育て情報の収集を図る。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101010200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	子育て学習活動推進事業	予算事業名	子育て学習活動推進事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子
取組み事項		育児相談・情報提供体制を充実する		担当者名	牧野 さとみ
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市子育て学習センターに関する規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育て中の親及び保護者			
	誰(何)を対象として	就学前の乳幼児とその親及び保護者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	不安や悩みに対応し、家庭や地域の教育力を高めるとともに、相談業務を通じ就学前児童の健全な育成が図れる家庭環境を支援する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		就学前の乳幼児とその保護者を対象として、不安や悩みに対応し、家庭や地域の教育力を高めるため、子育て親子の交流等を促進し、相談活動、グループの育成、幼児教育学級等を開催する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用人数	人	11832	11751	12767	13000
	事業参加者数	人	9014	8199	8700	9000
	相談件数	件	80	82	108	100

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.191	0.194	102	0.187	96	0.166	89	
	臨時職員	0.655	1.135	173	1.176	104	1.172	100	
支出内訳	人件費	3,360,614	4,532,797	135	4,625,415	102	4,618,979	100	
	事業費	2,465,548	2,497,206	101	2,711,051	109	2,685,000	99	
	合計	5,826,162	7,030,003	121	7,336,466	104	7,303,979	100	
財源内訳	国庫支出金	1,825,000	2,243,000	123	2,180,000	97	1,462,000	67	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,001,162	4,787,003	120	5,156,466	108	5,841,979	113	
合計	5,826,162	7,030,003	121	7,336,466	104	7,303,979	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	13200	12000	90.9	12000	100.0	13000	108.3	
	実績	11832	11751	99.3	12767	108.6			
指標名2		1回当たり事業参加人数							
指標説明(式)		事業参加人数/実施回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	35	35	100.0	35	100.0	50	142.9	
	実績	31	30	96.8	46	153.3			

【効率性】

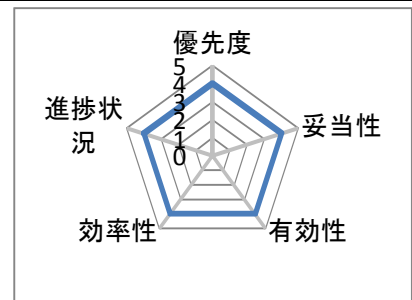
指標名1		利用者一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費計(人件費を含む)÷利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	466	596	127.9	653	109.6	562	86.1	
	実績	492	598	121.5	575	96.2			
指標名2		事業参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷事業参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	263	277	105.3	317	114.4	298	94.0	
	実績	274	305	111.3	312	102.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	前年度と比較し、子育て学習センターの利用人数、相談件数が増加している。	4
	成果の向上	親支援講座を開催し子育ての負担を緩和した。	
効率性	コストの節減	事業参加者、利用者の増により一人当たりのコストが減少した	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	補助指導員の退職により育成が出来なかった



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今年度新しく補助指導員の採用があり、育成を図る

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	母子家庭等医療費給付事業		予算事業名	母子家庭等医療費給付事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	母子家庭等医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	母子家庭等医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		母子家庭等の医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	10,894,684	8,615,262	8,762,762	9,500,000
	助成件数	件	3,981	3,029	3,172	4,200
	平均受給者数	人	417	357	332	390

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.224	0.246	110	0.264	107	0.264	100	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,156,621	2,269,518	105	2,410,164	106	2,510,075	104	
	事業費	10,894,684	8,615,262	79	8,762,762	102	9,500,000	108	
	合計	13,051,305	10,884,780	83	11,172,926	103	12,010,075	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	5,447,342	4,307,631	79	4,381,381	102	3,600,000	82	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,603,963	6,577,149	86	6,791,545	103	8,410,075	124	
合計	13,051,305	10,884,780	83	11,172,926	103	12,010,075	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの母子家庭等医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	29,700	28,000	94.3	25,000	89.3	24,359	97.4	
	実績	26,126	24,132	92.4	26,394	109.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		母子家庭等医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	805	513	63.7	578	112.7	598	103.5	
	実績	542	749	138.2	760	101.5			

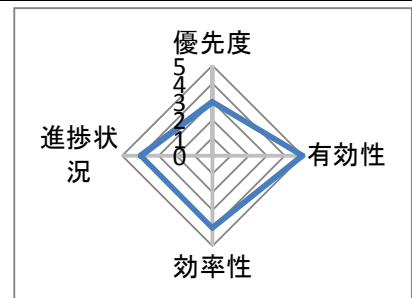
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の母子家庭に対し、適正な医療費助成を行うことにより、福祉の増進を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	負担割合の適正化	県の福祉医療費助成事業に合わせて実施しており、受給者の負担割合は適正である。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり迅速、適正な事務処理を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	母子相談員との連携により、受給者の負担を適正に管理していく。県の第3次行革プランにより所得制限の見直しが行われるが、非該当となる者は市単独で助成する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	乳幼児等医療費助成事業	予算事業名	乳幼児等医療費助成事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部市民課	
施策名(中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名 土居 城介
取組み事項	子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		乳幼児等医療費助成事業			
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	乳幼児等医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	乳幼児等医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもが病気にかかったときなど、安心して病院に受診できるよう、医療費の助成を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		乳幼児(0歳～小学3年)の医療費の一部を助成する。21年度以降は市単独事業として、自己負担を無料とする。(20年度までは、0歳～義務教育就学前乳幼児までの自己負担を無料。)				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	62,310,320	65,639,670	62,213,018	69,060,000
	助成費(市単独分)	円	29,337,572	31,575,988	30,769,593	30,327,900
	助成件数	件	32,942	33,055	30,690	30,700
	平均受給者数	人	2,030	2,029	2,057	2,200

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.234	0.248	106	0.266	107	0.264	99	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,235,571	2,284,966	102	2,425,538	106	2,510,075	103	
	事業費	62,310,320	65,639,670	105	62,213,018	95	69,060,000	111	
	合計	64,545,891	67,924,636	105	64,638,556	95	71,570,075	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	16,486,374	17,031,841	103	15,721,712	92	19,366,050	123	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	48,059,517	50,892,795	106	48,916,844	96	52,204,025	107	
合計	64,545,891	67,924,636	105	64,638,556	95	71,570,075	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15,000	15,582	103.9	15,980	102.6	13,785	86.3	
	実績	14,452	15,562	107.7	14,958	96.1			
指標名2		1件当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,000	976	97.6	1,102	112.9	988	89.7	
	実績	891	955	107.2	1,515	158.6			

【効率性】

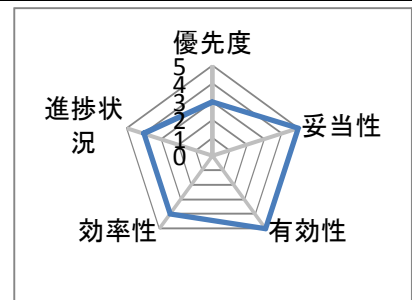
指標名1		乳幼児等医療費助成1件当たりコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	258	73	28.3	79	108.2	82	103.8	
	実績	68	69	101.5	79	114.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	乳幼児等の医療費を無料とすることで、子育て世代の経済的負担の軽減を図った。	5
	市民サービス	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、市民の関心が高く、市民サービスの向上につながった。	
効率性	コストの節減	助成件数は減少したが、1件当たりのコストは前年度より高くなった。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受給者が増えており、概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	さらなる子育て支援施策の拡大に向けて、所得制限の見直しを検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	医療費の動向を見ながら、福祉医療制度全体の中で事業の見直しを検討する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020300		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	こども医療費助成事業		予算事業名	こども医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博 担当者名 土居 城介		
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無		
実施計画事業名		こども医療費助成事業(総額)					
根拠法規及び関連法規		こども医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	こども医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	こども医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもが病気にかかったときなど、安心して病院に受診できるよう医療費の助成を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学4年から中学3年の児童・生徒の医療費を助成する(H22年度からの新規事業)所得制限あり H22年度は入院医療費の自己負担分を助成 H23年度から対象を通院医療費にも拡大				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	22,348,111	38,954,328	37,502,143	42,500,000
	助成費(市単独分)	円	19,339,145	32,744,924	27,585,926	35,084,000
	助成件数	件	6,559	13,099	12,813	13,530
	平均受給者数	人	1,411	1,350	1,291	1,390

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.248	0.253	102	0.274	108	0.270	99	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,346,101	2,323,586	99	2,487,034	107	2,558,261	103	
	事業費	22,348,111	38,954,328	174	37,502,143	96	42,500,000	113	
	合計	24,694,212	41,277,914	167	39,989,177	97	45,058,261	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,739,831	3,283,604	189	5,269,382	160	7,416,000	141	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,954,381	37,994,310	166	34,719,795	91	37,642,261	108	
合計	24,694,212	41,277,914	167	39,989,177	97	45,058,261	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りのこども医療費助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11,176	20,000	179.0	22,098	110.5	25,240	114.2	
	実績	13,706	24,255	177.0	24,967	102.9			
指標名2		1件当りのこども医療費助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,000	3,898	129.9	2,221	57.0	2,593	116.7	
	実績	2,948	2,500	84.8	2,516	100.6			

【効率性】

指標名1		こども医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	411	405	98.5	172	42.5	189	109.9	
	実績	358	177	49.4	194	109.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度開始当初は入院にかかる医療費のみの助成であったが、通院にかかる医療費まで拡大することで、子育て世代の経済的負担のさらなる軽減を図ることができた。	5
	市民サービス	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、市民の関心が高く、市民サービスの向上につながった。	
効率性	コストの節減	受給者数の減少により、受診件数も減となったが、1件当たりのコストは増加した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

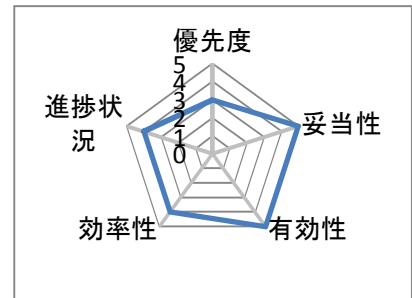
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	乳幼児医療費と同じ法別番号(負担者番号)を使っているため、事務が煩雑となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	乳幼児医療とは別の法別番号(負担者番号)の導入を検討する。



配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020400		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	修学旅行援助事業		予算事業名	修学旅行援助事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	要保護、準要保護世帯に属する小学校6学年及び中学校3学年に在学し、修学旅行に参加する児童					
	誰(何)を対象として	要保護、準要保護世帯に属する小学校6学年及び中学校3学年に在学し、修学旅行に参加する児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要保護、準要保護世帯に属する児童の修学旅行準備費用を助成することにより参加する機会を与え、児童の健全な育成と福祉の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		要保護、準要保護世帯に属する児童に修学旅行へ参加する機会を与え、児童の健全な育成と福祉の向上を図ることを目的に、修学旅行準備費用を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	支給人数	人	49	27	29	30	
	支給金額	円	343000	189000	203000	210000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.058	0.056	97	0.072	129	0.061	85	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	773,294	739,480	96	870,794	118	814,080	93	
	事業費	343,000	189,000	55	203,000	107	210,000	103	
	合計	1,116,294	928,480	83	1,073,794	116	1,024,080	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,116,294	928,480	83	1,073,794	116	1,024,080	95	
合計	1,116,294	928,480	83	1,073,794	116	1,024,080	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人員							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	55	35	63.6	35	100.0	30	85.7	
	実績	49	27	55.1	29	107.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

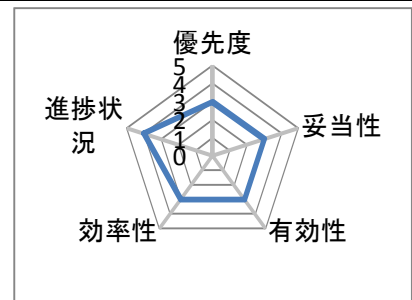
指標名1		受給者1人当たりの事務費							
指標説明(式)		総費用額/受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	22214	29313	132.0	31469	107.4	34136	108.5	
	実績	22782	34388	150.9	37027	107.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	現金給付によって、直接的に子どもたちの修学旅行の準備費用に充てることのできるため効果的である。	3
効率性	手段の最適性	支給額は削減したが、実施時期等は現状で最適である	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	滞りなく助成しており、概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	児童の健全な育成と福祉の向上から、要保護、準要保護世帯の負担軽減を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	要保護準要保護世帯の児童が、安心して就学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額を維持し、引き続き支援していく。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020500		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	つどいの広場補助事業		予算事業名	社会福祉協議会活動事業(子育て)	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる			担当課長	清水 直子	担当者名	牧野 さとみ
取組み事項		子育て支援サービスを充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	まちの子育て広場利用者のため						
	誰(何)を対象として	まちの子育て広場利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点をづくり、安心して子育てできる生活環境の確保を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の拠点を作り安心して子育てできる生活環境の確保を図るため、まちの子育てひろばを実施するための補助金を交付する。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	子育てサロン参加延人数	人	5479	4431	4134	4500		
	子育てひろばの参加人数	人	7997	6598	6089	6500		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.043	0.044	102	0.050	114	0.050	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	654,869	646,792	99	701,680	108	725,739	103	
	事業費	1,147,970	1,144,920	100	1,147,920	100	1,150,000	100	
	合計	1,802,839	1,791,712	99	1,849,600	103	1,875,739	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,802,839	1,791,712	99	1,849,600	103	1,875,739	101	
合計	1,802,839	1,791,712	99	1,849,600	103	1,875,739	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子育てサロン参加延人数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4800	5500	114.6	5000	90.9	4500	90.0	
	実績	5479	4431	80.9	4134	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

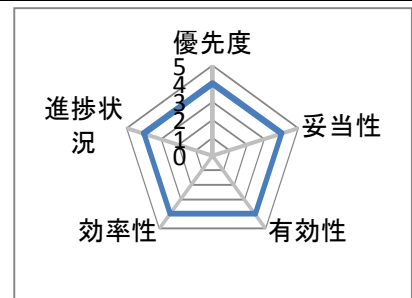
指標名1		参加者1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/子育てサロン参加延べ人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	239	208	87.0	230	110.6	250	108.7	
	実績	210	258	122.9	278	107.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加人数が減少。	4
	市民サービス	育児ストレスや不安感などを抱える保護者が気軽に参加できるような身近な場所は必要である。	
効率性	手段の最適性	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場を与えるために、現状で最適である。	4
	執行体制の効率性	子育て広場に保健師や栄養士という専門スタッフを派遣し健康増進係と連携した取り組みがあり母親が容易に相談できる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	子育ての負担感を抱えている母親に対する次の支援へ繋げること



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	子育ての負担感を抱えている母親に対し専門の支援や機関に繋げる。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020700		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	子供の遊び場等設置補助事業		予算事業名	子供の遊び場等設置補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子		担当者名 坪田 知己
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市子供の遊び場設備費等補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子供の遊び場の遊具等を使って遊ぶ子供たちのため					
	誰(何)を対象として	子供の遊び場の遊具等を設置管理する市内各地区の団体(自治会、子供会、婦人会等)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子供の遊び場の遊具等の新設取り替え及び修理に要する費用についてその費用の一部を補助することにより、子供の遊び場づくりを促進し、子供に健全な遊びをあたえてその健康を増進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		子供に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに事故の防止を図ることを目的とし、子供の遊び場用遊具等の新設取り替え及び修理にかかる補助を行っている。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	補助件数	件	1	0	0	1
	補助額	円	28665	0	0	150000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.051	106	0.067	131	0.066	99	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	694,344	700,860	101	832,359	119	854,235	103	
	事業費	28,665	0	0	0	-	150,000	-	
	合計	723,009	700,860	97	832,359	119	1,004,235	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	723,009	700,860	97	832,359	119	1,004,235	121	
合計	723,009	700,860	97	832,359	119	1,004,235	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件当たり補助額							
指標説明(式)		補助額/補助件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	150000	100.0	150000	100.0	150000	100.0	
	実績	28665	0	0.0	0	-			

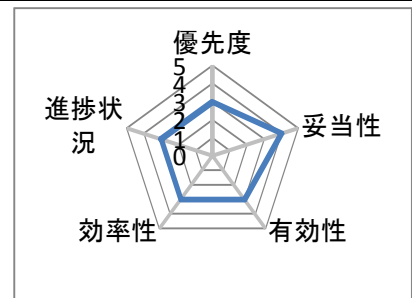
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	子供の遊び場づくりに取り組もうとする自治会等を対象に、その経費に対する補助を行うことは、地域で子供を育てる観点からも有効である。	3
	市民サービス	子供が遊び心身ともに健全に成長するために、地域の遊び場は必要である。	
効率性	負担割合の適正化	補助事業費の負担割合は2分の1であり適正である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	地域の中で、子供が遊び、また、子育てしやすい環境を作り出すため、引き続き情報発信し、制度の周知を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各自治会に対し、制度に関する利用の啓発を行うとともに、引き続き補助事業として支援していく。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020800		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	予算事業名	ファミリーサポートセンター事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		仕事と家庭両立支援特別援助事業の実施について(平成13年厚生労働省発雇児第319号)特別保育事業費等の国庫補助について(平成17年厚生労働省発雇児第0111001号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育て援助を行いたい方(提供会員)と受けたい方(依頼会員)					
	誰(何)を対象として	子育て援助を行いたい方(提供会員)と受けたい方(依頼会員)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に住所を有する労働者等の仕事と育児の両立を支援するための環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		仕事と育児の両立を支援するための会員相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	会員数	人	646	661	615	620	
	活動件数	件	414	825	942	950	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.077	0.066	86	0.062	94	0.061	98	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	923,299	816,720	88	793,924	97	814,080	103	
	事業費	3,016,150	2,887,740	96	3,108,873	108	3,230,000	104	
	合計	3,939,449	3,704,460	94	3,902,797	105	4,044,080	104	
財源内訳	国庫支出金	1,521,000	1,551,000	102	1,522,000	98	1,555,000	102	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,418,449	2,153,460	89	2,380,797	111	2,489,080	105	
合計	3,939,449	3,704,460	94	3,902,797	105	4,044,080	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		加入会員数							
指標説明(式)		依頼+提供+両方会員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	650	660	101.5	670	101.5	620	92.5	
	実績	646	661	102.3	615	93.0			
指標名2		活動件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	650	700	107.7	850	121.4	950	111.8	
	実績	414	825	199.3	942	114.2			

【効率性】

指標名1		活動1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費/活動件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6155	10795	175.4	4678	43.3	4257	91.0	
	実績	9516	4490	47.2	4143	92.3			

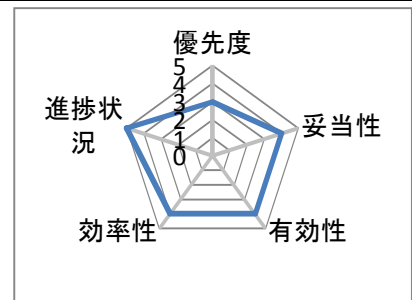
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	提供会員への活動希望アンケートを実施し会員数が減少したが支援者講座の回数を増加し質の向上を図った。また活動件数が増加した。	4
	市民サービス	利用者(依頼会員)のニーズに応じた提供会員を確保し、仕事と育児の両立支援のための相互援助活動の調整を行った	
効率性	コストの節減	活動件数の増加により、活動1件当たりのコストは減少した	4
	手段の最適性	アドバイザーにより育児に関する活動の調整、仕事の両立支援のためのニーズに応じた相互援助活動の調整を実施し、利用者の依頼に対応している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	次世代育成支援後期行動計画による目標事業量は、ファミリー・サポート・センター1箇所の設置であり、目標は達成している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	預かり中の子どもの安全対策等のために、提供会員のスキルアップを図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	提供会員への講習会の実施する。(合計24時間、9講座を実施)

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010101020900		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	次世代育成支援対策推進事業	予算事業名		優先度	-
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子	担当者名	森中 江美
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		次世代育成支援対策推進法第8条第1項					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育てを行うすべての家庭					
	誰(何)を対象として	児童及びその養育者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の家庭、地域、学校、行政等がそれぞれの役割を果たしながら、社会全体で子育てを支え、すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ、成長していけるまちづくりを実現できるよ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会全体で子育てを支え、全ての子どもが心身共に健やかに生まれ、成長していけるまちづくりを実現するため、相生市次世代育成支援行動計画の推進状況の確認を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	計画の目標事業量(特定事業)の達成数	件	8	8	8	8	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.161	0.217	135		0		-	
	臨時職員	0.000	0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,586,479	1,983,044	125	317,330	16	324,189	102	
	事業費	210,340	153,160	73		0		-	
	合計	1,796,819	2,136,204	119	317,330	15	324,189	102	
財源内訳	国庫支出金	45,000	0	0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,751,819	2,136,204	122	317,330	15	324,189	102	
合計	1,796,819	2,136,204	119	317,330	15	324,189	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		計画の目標事業量(特定事業)の達成数							
指標説明(式)		平成26年度の目標事業量(通常保育事業、延長保育事業、休日保育事業、放課後児童健全育成事業、病児・病後児保育事業、子育て短期支援事業、一時預かり事業、ファミリーサポート)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	8	100.0	8	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	近年の国の動向や子どもや子育て家庭を取り巻く状況、市民ニーズを踏まえて策定した「相生市次世代育成支援後期行動計画」の最終期に向けて、法に基づいた市の行動計画実現に向けて取り組む。	3
効率性	執行体制の効率性	子ども・子育て支援新制度の施行準備にむけて相生市次世代育成支援対策推進協議会を廃止し、子ども・子育て支援事業推進委員会に統合して、引続き、計画の実施状況等を協議できる執行体制となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

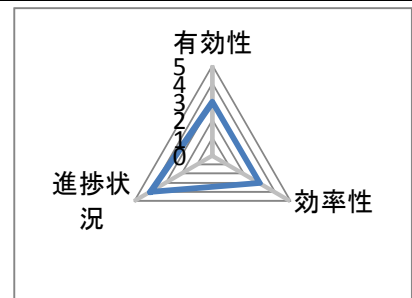
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	子ども・子育て支援事業推進委員会に次世代育成支援対策推進協議会を統合することで引続き執行体制を確立させる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	行動計画最終期であるので、事業内容等を子ども・子育て新制度に対応するための計画策定につなげる。



配点	25
総合評価	10

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101021000	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	子ども手当等支給事業	予算事業名	児童手当等支給事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		児童手当等システム保守委託料		担当者名	坪田 知己
主要事業の指定		無			
根拠法規及び関連法規		児童手当法・子ども手当法・児童扶養手当法・特別児童扶養手当法 相生市子ども手当事務取扱規則・相生市児童扶養手当事務取扱規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童を養育する父・母等の保護者			
	誰(何)を対象として	児童を養育する父・母等の保護者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもを養育している者に子ども手当等を支給することにより、次代を担う子どもの健やかな育ちを支援する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもを養育している者に子ども手当等を支給することにより、次代を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、児童手当法・子ども手当法・児童扶養手当法・特別児童扶養手当法に基づき、各種手当を支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	子ども手当延児童数	人	41008	40390	39685	39164
	児童扶養手当受給権者	人	254	248	248	237
	特別児童扶養手当受給権者	人	44	44	43	43

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.595	0.467	78	0.650	139	0.466	72	
	臨時職員	0.250	0.250	100	0.315	126	0.630	200	
支出内訳	人件費	5,599,659	4,514,794	81	6,082,795	135	5,658,645	93	
	事業費	617,062,453	560,036,024	91	546,191,942	0	544,789,000	-	
	合計	622,662,112	564,550,818	91	6,082,795	1	547,509,645	9.001	
財源内訳	国庫支出金	431,243,706	353,376,886	82	341,433,408	97	340,892,000	100	
	県支出金	55,597,664	65,878,163	118	66,317,332	101	66,163,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	135,820,742	145,295,769	107	-401,667,945	-276	140,454,645	-35	
	合計	622,662,112	564,550,818	91	6,082,795	1	547,509,645	9.001	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		広報等掲載回数							
指標説明(式)		広報・HP掲載での制度の周知回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市民1人当たり経費							
指標説明(式)		人件費／人口(各年4月1日)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	157	149	94.9	176	118.1	183	104.0	
	実績	177	144	81.4	196	136.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	関係法令に基づき、適正に支給している。	4
効率性	手段の最適性	広報紙、ホームページに、支給方法の案内、支給のための手続きを掲載するとともに、手続きが遅れている方に対しては、連絡通知するなど、速やかに処理ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に支給しており、概ね計画通りに進捗している	4

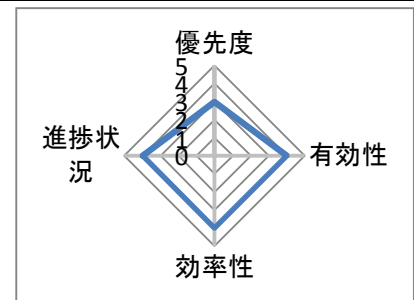
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	広報紙等による制度の周知を図るとともに、手続きが遅れている方に対しては、連絡通知をするなど、引き続き未申請者の減少に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	広報紙等による制度の周知、及び他部署等との庁内連携、また他の子育て支援事業等の申請の機会をとらえ、未申請者の減少に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101021200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	子育て応援券交付事業		予算事業名	子育て応援券交付事業(ふるさと応援基金事業)	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和	
取組み事項	子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生子育て応援券交付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	平成23年4月1日以降に生まれたお子さんを持つ家庭					
	誰(何)を対象として	平成23年4月1日以降に生まれたお子さんを持つ家庭					
	意図(どのような状態にしたいのか)	有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券を発行し、サービスを利用しやすくすることで、子育て家庭の不安解消や子育て負担の軽減を図るとともに、家庭や地域の子育て力					

2 事業の概要 Do

実施の概要		3歳に達するまでの期間、有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券3万6千円を交付する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	応援券交付件数	件数	230	238	280	280
	登録事業者数(任意の予防接種除く)	件数	13	26	27	30
	応援券利用金額	円	131,500	1,673,500	4278000	4886000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.338	0.290	86	0.102	35	0.081	79	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.265	133	0.530	200	
支出内訳	人件費	3,453,294	3,027,496	88	1,748,269	58	2,314,010	132	
	事業費	488,165	1,799,178	369	4,688,125	261	4,916,000	105	
	合計	3,941,459	4,826,674	122	6,436,394	133	7,230,010	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,941,459	4,826,674	122	6,436,394	133	7,230,010	112	
	合計	3,941,459	4,826,674	122	6,436,394	133	7,230,010	112	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応援券利用者状況(利用率)							
指標説明(式)		応援券利用者数/応援券交付者数(%)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	50	-	60	120.0	60	100.0	
	実績	7.8	45.7	585.9	59	129.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

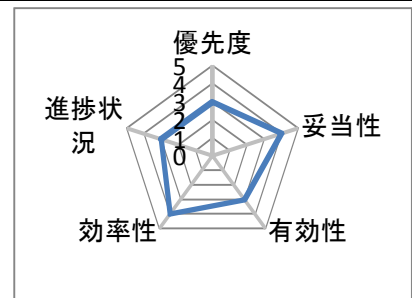
指標名1		応援券交付1件当たり経費(サービス利用金額を除く)							
指標説明(式)		人件費・事業費(サービス利用金額を除く)／交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	—	13,538	—	8,110	59.9	8371	103.2	
	実績	16,565	13,249	80.0	7709	58.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	応援券でサービスを利用することで、育児による不安感や負担感の軽減や、保護者や子どもの健康保持が図れる。	3
	成果目標(改善)達成度	利用できるサービスに限られており、利用者状況(利用率)は50%程度となっている。	
効率性	手段の最適性	申請もれがないよう対象者を抽出し、未申請者へは個別に案内をする等の対応をし、速やかに発行、処理できている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用できるサービスの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用率の向上及び利用できるサービスの確保

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101021300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	出産祝金支給事業		予算事業名	出産祝金支給事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子		担当者名	坪田 知己
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市出産祝金支給要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	出生時に本市に住所があり、出生児と同居かつ監護している者						
	誰(何)を対象として	出生時に本市に住所があり、出生児と同居かつ監護している者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	出産のお祝いと費用の軽減を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		出産祝金5万円を支給する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	支給件数	件	223	209	225	230	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.037	42	0.036	97	
	臨時職員	0.150	0.150	100	0.050	33	0.100	200	
支出内訳	人件費	1,362,194	1,347,098	99	723,799	54	866,005	120	
	事業費	11,156,000	10,453,000	94	11,253,000	108	11,503,000	102	
	合計	12,518,194	11,800,098	94	11,976,799	101	12,369,005	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,518,194	11,800,098	94	11,976,799	101	12,369,005	103	
合計	12,518,194	11,800,098	94	11,976,799	101	12,369,005	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給件数							
指標説明(式)		支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	250	250	100.0	250	100.0	230	92.0	
	実績	223	209	93.7	225	107.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

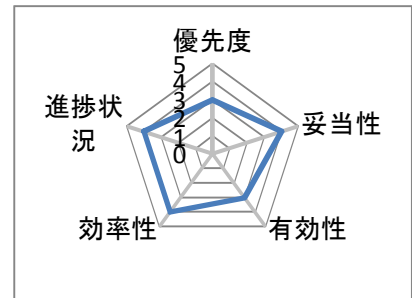
指標名1		支給1件当たりの事務費							
指標説明(式)		人件費/支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		5,545	-	2,798	50.5	3765	134.6	
	実績	6,108	6,445	105.5	3217	49.9			
指標名2		現金支給割合							
指標説明(式)		現金支給件数/支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0	80	100.0	
	実績	81.2	78	96.1	86.2	110.5			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	若年人口の増加と定住を促進し、子どもを産み育てやすい環境を整えることにより、地域活力の向上を図るため必要である。	3
	市民サービス	出産できる産婦人科がない本市にとって、出産に対する費用の支給は、他市との比較においても有効である。	
効率性	手段の最適性	出生届提出時に現金で支給することにより、出生を祝う目的に即している。	4
	執行体制の効率性	子育て支援室が担当することで、出生時の他の子育て施策の申請等の把握・調整ができ、効率的な執行体制である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	支給対象者にはすべて支給しており、計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	支給要件の確認や祝金の支給について、引き続き適正に事務を進める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	他の活性化事業とともに、関係各課と連携しながら、制度のPR、周知に努める。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010101021400		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	育児等健康支援事業	予算事業名	育児等健康支援事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子	担当者名	三木 由紀	
取組み事項	子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	母子保健事業						
事業の目的	誰のために(具体的に)	妊婦、乳児並びにその保護者					
	誰(何)を対象として	妊娠届のあった妊婦、乳児並びにその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健やかな母子の育成					

2 事業の概要 Do

実施の概要	妊娠届時に母子健康手帳を交付する。栄養士による離乳食についての講話及び個別相談並びに離乳食の試食を実施					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	離乳食教室(ごっくん期)	人	216	214	213	210
	母子健康手帳の交付	冊	234	198	264	250
	離乳食教室(もぐもぐ期)	人		50	58	60

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.336	0.372	111	0.328	88	0.292	89	
	臨時職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.176	1,100	
支出内訳	人件費	3,005,656	3,218,712	107	2,877,722	89	3,113,993	108	
	事業費	257,031	420,821	164	462,706	110	530,000	115	
	合計	3,262,687	3,639,533	112	3,340,428	92	3,643,993	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,262,687	3,639,533	112	3,340,428	92	3,643,993	109	
	合計	3,262,687	3,639,533	112	3,340,428	92	3,643,993	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	離乳食教室(ごっくん期)参加者数								
指標説明(式)	対象者に対し、1年間の教室への参加人数の割合								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	96	95.6	99.6	98.6	103.1			
指標名2	離乳教室(もぐもぐ期)参加後の意識、行動変化								
指標説明(式)	教室参加後、意識、行動が改善した割合								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績		80	-	82	102.5			

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数(H21~H23は、年6回、H24、25は年12回)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,833	40,000	98.0	40,000	100.0	40,000	100.0	
	実績	34,244	31,038	90.6	33,545	108.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教室は、4か月児健診受診者が参加するため、4か月児健診時にブックスタート事業、離乳食教室を同時開催し、健診の受診率を向上することで、離乳食教室への参加率も増加する。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適齢年齢に合わせての実施により、乳幼児の健全な育成と母性の心身負担軽減が図られた。	
効率性	執行体制の効率性	効果的な体制、方法で事業を推進している。教室も増やしフォローにも取り組んでいる。	4
	コストの節減	必要最小限のスタッフで運営しており、コスト削減に向け更なる工夫に努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業は、問題なく進んでいる。	4

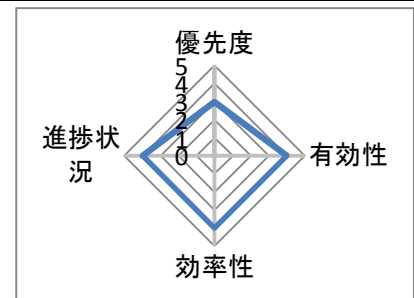
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	参加者の行動変容をはかるための教室内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	新しい知識を取り入れ、教室の内容を更に充実させる。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010101021500		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	妊婦健康診査等補助事業	予算事業名	妊婦健康診査等補助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名		健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		母子保健法、相生市妊婦健康診査費補助事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所を有する妊婦					
	誰(何)を対象として	市内に住所を有する妊婦					
	意図(どのような状態にしたいのか)	妊婦の妊娠期間中における健康診査費用の一部を助成することにより、健診の受診を勧奨し、もって妊婦の健康増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		妊娠届時に受診券を交付し、14回10万2千円を限度とし、妊婦健診費用を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成回数	回/人	11.95	11.14	11.67	14	
	助成額	金額/人	81,207	77,476	84,553	102,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.160	0.140	88	0.080	57	0.036	45	
	臨時職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
支出内訳	人件費	1,860,224	1,676,656	90	1,225,210	73	916,545	75	
	事業費	19,241,623	16,905,861	88	18,638,020	110	19,010,000	102	
	合計	21,101,847	18,582,517	88	19,863,230	107	19,926,545	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	5,990,031	5,522,500	92		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,111,816	13,060,017	86	19,863,230	152	19,926,545	100	
合計	21,101,847	18,582,517	88	19,863,230	107	19,926,545	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成回数							
指標説明(式)		助成回数/人							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	14	14	100.0	14	100.0	14	100.0	
	実績	11.95	11.14	93.2	11.67	104.8			
指標名2		助成額							
指標説明(式)		助成額/人							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	102,000	102,000	100.0	102,000	100.0	102,000	100.0	
	実績	81,207	77,476	95.4	84,553	109.1			

【効率性】

指標名1		母子手帳同時申請者率							
指標説明(式)		受診券交付申請者数／母子手帳交付数(再交付除く)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	91.6	94.4	103.1	100	105.9			

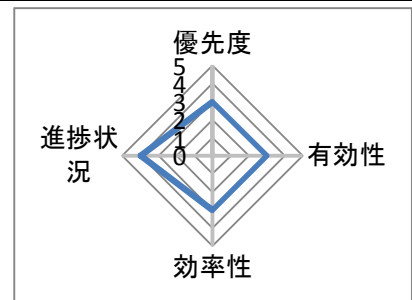
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	妊婦健診の一部助成により、経済的負担が軽減され、定期的な健診受診を図れ、妊娠期の健康管理ができる。	3
効率性	手段の最適性	母子健康手帳交付と同時に申請事務ができる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受診回数の少ない妊婦がいるため、受診券交付時に望ましい受診回数の受診勧奨を行い、安全で安心して出産ができるように努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	1回2枚使用の受診券を1回1枚使用の受診券に改め、14枚交付することにより受診回数の把握が容易にできるようにし、安全で安心した出産ができるようにする。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101021700		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	自立支援等医療費助成事業		予算事業名	自立支援等医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自立支援等医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	自立支援等医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	自立支援等医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉医療費等助成条例に定める乳幼児等及び子どもに係る自立支援等医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく自立支援医療費、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾患の対象医療費など、福祉医療費以外の法令等に基づく医療給付を受けている乳幼児等及び子どもに係る医療費の自己負担相当額を助成(無料)				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	平均受給者数	人	14	8	5	8
	受診件数	件	62	17	18	24
	助成費	円	158,860	204,088	101,936	480,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.051	0.053	104	0.054	102	0.053	98	
	臨時職員	0.005	0.002	40	0.002	100	0.002	100	
支出内訳	人件費	729,764	721,114	99	737,310	102	754,886	102	
	事業費	158,860	204,088	128	101,936	50	480,000	471	
	合計	888,624	925,202	104	839,246	91	1,234,886	147	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	888,624	925,202	104	839,246	91	1,234,886	147	
合計	888,624	925,202	104	839,246	91	1,234,886	147		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たりの自立支援等医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		79,310	-	50,000	63.0	60,000	120.0	
	実績	11,347	25,511	224.8	20,387	79.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		自立支援等医療費助成1件当たりのコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)÷件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		2,150	-	19,312	898.2	31,454	162.9	
	実績	11,770	42,418	360.4	40,962	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	子育て世代の経済的な負担軽減のために、適正な医療費助成を行った。	5
	市民サービス	子育て世代の経済的な負担軽減につながり、市民サービスの向上につながった。	
効率性	手段の最適性	福祉医療制度で助成対象外となる医療費について、償還払により助成を行った。	4
	コストの節減	養育医療の窓口負担がなくなったため、助成費が減った結果、1件当たりのコストも減った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

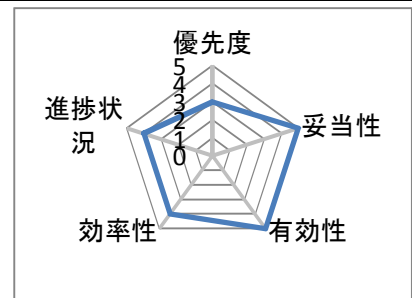
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	償還払いのため、制度の周知が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	広報紙等に掲載することにより、制度の周知を図る。



配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101021800	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	子ども・子育て支援事業	予算事業名	子ども・子育て支援事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		担当者名	森中 江美
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	有
根拠法規及び関連法規		子ども・子育て支援法第3条、相生市子ども・子育て会議設置条例、相生市子ども・子育て支援事業推進委員会設置要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育てを行う全ての家庭			
	誰(何)を対象として	子ども及び子どもを養育している者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が各々の役割を果たし、協力し、一人一人の子どもが健やかに成長することができるまちづくりを実現			

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう子ども及び保護者に必要な子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	子ども・子育て会議	回			2	4
	子ども・子育て支援事業推進委員会	回			3	4

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	1.204	-	1.194	99	
	臨時職員			-	0.800	-		0	
支出内訳	人件費			-	11,525,278	-	9,913,203	86	
	事業費			-	1,753,709	-	3,147,000	179	
	合計			-	13,278,987	-	13,060,203	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	13,278,987	-	13,060,203	98	
合計			-	13,278,987	-	13,060,203	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子ども・子育て会議							
指標説明(式)		子ども・子育て支援事業計画策定に向けた審議を行うための開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-	2	-	4	200.0	
	実績			-	2	-			
指標名2		子ども・子育て支援事業推進委員会							
指標説明(式)		子ども・子育て支援事業計画策定に向けた検討を行うための開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-	4	-	4	100.0	
	実績			-	3	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

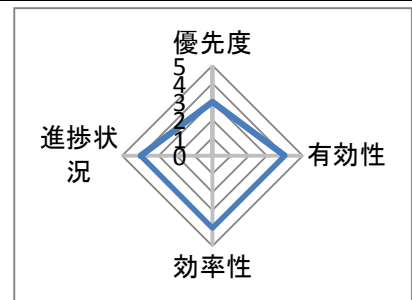
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	子ども・子育て支援法に基づき義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、就学前児童全員(1500人)、1~4年生の小学生(500人)の児童を対象にニーズ調査を行い、現在の状況、今後の利用希望などを把握する。	4
効率性	執行体制の効率性	子ども・子育て支援法に基づき設置が努力目標とされた協議制の機関として「子ども・子育て会議」と協議機関として「子ども・子育て支援事業推進委員会」を設置し、子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて調査審議していく執行体制を整備する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国・県からの情報を把握し、関係組織との連携を図り、子ども・子育て支援新制度の実施に向けた事務を円滑に進める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	平成27年度に予定されている子ども・子育て支援新制度の本格施行に向け、関係機関との連携を図りながら、子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101040100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	母子健康相談指導事業		予算事業名	母子保健相談指導事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子		担当者名 三木 由紀
取組み事項		母子保健対策を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		母子保健法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	妊産婦、乳幼児及び母性に関する市民					
	誰(何)を対象として	妊産婦、乳幼児及び母性に関する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	歯科保健に対する保護者の意識づけとう歯の予防。育児に関わる保護者の心身の負担軽減と健全な母性及び乳幼児の育成。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象児について歯科健診、フッ素塗布、ブラッシング指導等を実施する。電話、面接等による相談を個別に実施する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	2歳児歯科健診有病者数	%	8.1	7.7	10.7	9	
	個別相談	件	2838	2977	2977	3000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.820	0.820	100	0.544	66	0.352	65	
	臨時職員	0.112	0.112	100	0.104	93	0.264	254	
支出内訳	人件費	7,052,148	6,909,752	98	4,752,922	69	3,818,229	80	
	事業費	609,255	642,250	105	535,128	83	586,000	110	
	合計	7,661,403	7,552,002	99	5,288,050	70	4,404,229	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,661,403	7,552,002	99	5,288,050	70	4,404,229	83	
合計	7,661,403	7,552,002	99	5,288,050	70	4,404,229	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		齲歯有病者率							
指標説明(式)		齲歯有病者数 ÷ 受診者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	8	80.0	7.5	93.8	10	133.3	
	実績	8.1	7.7	95.1	10.7	139.0			
指標名2		年間の相談件数							
指標説明(式)		1年間に受ける相談件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2000	2900	145.0	3000	103.4	3000	100.0	
	実績	2838	2977	104.9	2977	100.0			

【効率性】

指標名1		2歳児歯科健診受診率							
指標説明(式)		受診者数÷対象者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	90	90.0	80	88.9	88	110.0	
	実績	83.5	76.1	91.1	86	113.0			

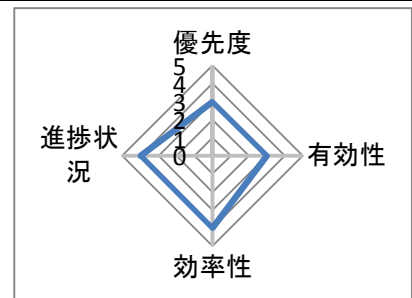
指標名2		10か月児相談受診率							
指標説明(式)		受診者数÷対象者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績	94.4	91.4	96.8	92.7	101.4			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	適齢年齢の歯科健診・10か月児相談の実施と電話、面接等による個別相談実施により、母性の心身の負担軽減と乳幼児の健全な育成が図られた。	3
	成果目標(改善)達成度	う歯有病者率が増加。歯に対する意識が高い人と低い人の二極化が進んでいる。意識の低い方へのアプローチが必要である。	
効率性	執行体制の効率性	2歳児歯科健診の受診率が悪かったため、H25年度より健診未受診者に対しハガキを送付した。結果受診率増加となる。	4
	コストの節減	適正な人材と回数で実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	歯科への関心を高め、正しい知識を身につける必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	歯の生え始めである10か月相談時に、歯科に対する正しい知識を身につけてもらい、家庭で実践してもらうよう指導する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101040200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	乳幼児健康診査等事業		予算事業名	乳幼児健康診査等事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上啓子		担当者名	志茂寿美
取組み事項	母子保健対策を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		母子保健法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する乳幼児					
	誰(何)を対象として	市内に居住する4か月児、1歳6か月児、3歳児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	乳幼児の疾病の早期発見及び健全な発育発達を促すとともに、保護者が適切な育児・療育を行えるよう図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		4か月児、1歳6か月児、3歳児に対し、問診観察、内科健診、歯科健診、個別相談等を実施				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	4か月児健康診査受診率	%	96.9	95.5	98.6	100
	1歳6か月児健康診査受診率	%	95.9	96.2	94.7	100
	3歳児健康診査受診率	%	92.9	92.4	95.6	100

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.928	0.840	91	0.620	74	0.348	56	
	臨時職員	0.092	0.092	100	0.092	100	0.252	274	
支出内訳	人件費	7,857,868	7,016,172	89	5,307,842	76	3,755,781	71	
	事業費	1,945,666	1,990,495	102	1,978,869	99	2,261,000	114	
	合計	9,803,534	9,006,667	92	7,286,711	81	6,016,781	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,803,534	9,006,667	92	7,286,711	81	6,016,781	83	
合計	9,803,534	9,006,667	92	7,286,711	81	6,016,781	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受診率							
指標説明(式)		受診児÷対象児							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	95	94.7	99.7	96.2	101.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

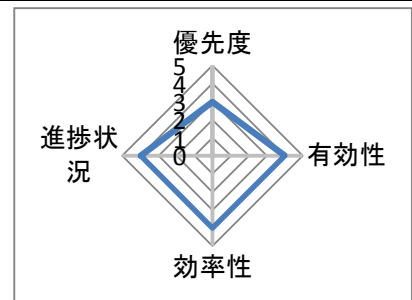
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	徹底した受診勧奨を行い、受診率は若干向上している。未受診の方の状況を訪問等で把握し、乳幼児の全数把握に努めている。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づいた事業となっている。	
効率性	執行体制の効率性	各対象者の自宅への案内通知だけでなく、3歳児健診については幼稚園へ健診日を案内し、保護者へ勧奨している。現状の体制を基に、受診率向上を目指している。	4
	コストの節減	現在、それぞれ2か月に1回の開催とし、委託料の支出を最小限にしている。指導用資料は極力庁内印刷としている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診率の目標値には達しないが、今後も受診率100%と、全数把握を目指し、事業を進めていく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受診率はやや伸びているが、100%を目指して事業を推進する。家庭の事情等で状況把握が難しいケースもある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	未受診者への徹底した受診勧奨を行い、受診率向上と全数把握を目指す

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101040300	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	特定不妊治療費補助事業	予算事業名	特定不妊治療費補助事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)	子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上啓子	担当者名 志茂寿美
取組み事項	母子保健対策を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	不妊治療を受ける夫婦			
	誰(何)を対象として	不妊治療を受ける夫婦			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的負担の軽減			

2 事業の概要 Do

実施の概要		1回の特定不妊治療に要する費用から、県の助成額(15万円)を差し引いた額に対し、10万円を限度として助成				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成件数	件	9	11	9	15

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.036	56	0.068	189	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	867,604	849,332	98	642,882	76	920,837	143	
	事業費	779,370	867,050	111	555,360	64	2,000,000	360	
	合計	1,646,974	1,716,382	104	1,198,242	70	2,920,837	244	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	1,646,974	1,716,382	104	1,198,242	70	2,920,837	244	
	合計	1,646,974	1,716,382	104	1,198,242	70	2,920,837	244	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	15	15	100.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	9	11	122.2	9	81.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

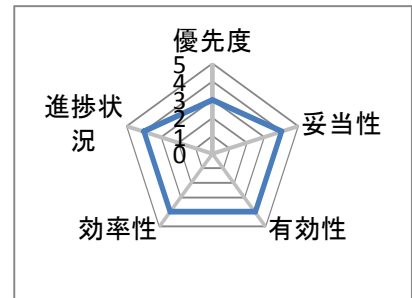
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	県助成15万円のみでは、本人の負担が大きいため、市が助成することで、かなりの部分の費用がカバーできる。	4
効率性	手段の最適性	高額な医療費を一旦負担してからの償還払いではあるが、金額がまちまちで、治療の途中中断もあることから、妥当な方法と言える。また、年間2~3回、通算5年間の助成は、治療の性質上適切と考える。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業開始から3年が経過し、定着してきた感がある。今後も、必要な方が確実に利用していただけるよう、啓発や関係機関との連絡調整を行い、事業を実施していく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	必要な人全てが制度を利用することができているか



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	必要な方が確実に利用していただけるよう、啓発や関係機関との調整を行い、事業を実施していく

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101040400		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	未熟児養育医療給付事業		予算事業名	未熟児養育医療給付事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上啓子 担当者名 志茂寿美		
取組み事項		母子保健対策を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		母子保健法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	入院医療の必要な未熟児					
	誰(何)を対象として	入院医療の必要な未熟児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	医療費及び入院時食事療養費を公費負担し、未熟児の健康の保持増進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		未熟児で生まれ、指定医療機関において医師が入院して養育を受ける必要があると認め、市が承認した場合に、医療費及び入院時食事療養費を公費負担する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	公費負担件数	件	—	—	6		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.016	-	0.044	275	0.076	173	
	臨時職員		0.000	-	0.008	-	0.008	100	
支出内訳	人件費		430,520	-	675,086	157	954,761	141	
	事業費			-	2,038,205	-	3,590,000	176	
	合計		430,520	-	2,713,291	630	4,544,761	167	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	1,690,790	-	2,244,000	133	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		430,520	-	1,022,501	238	2,300,761	225	
合計		430,520	-	2,713,291	630	4,544,761	167		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公費負担件数							
指標説明(式)		年間の公費負担件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	—	—	15	—	15	100.0	
	実績	—	—	—	6	—	—	—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	未熟児に対し、医療費及び入院時食事療養費を公費負担することにより、経済的負担が軽減され、安心して入院加療ができる	4
効率性	執行体制の効率性	県が実施していた時のような自己負担金の立替払いなしに治療が受けられるので、利用しやすい制度になっている 医療機関への周知は十分できているので、漏れなく利用できていると考える	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

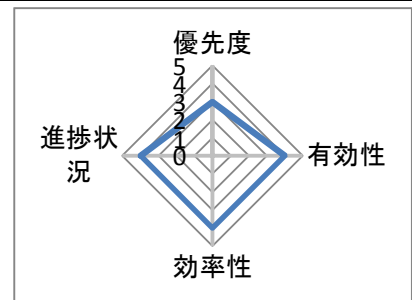
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	必要な方が確実に利用できるよう、関係機関と連携していく



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010102010100	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	公立保育所運営事業
予算事業名	保育所管理運営委託事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)	子育てと仕事が両立できるよう支援する	担当課長	清水 直子
取組み事項	多様な保育サービスの充実を図る	実施計画への記載	無
		担当者名	宮下 美和
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等		
事業の目的	誰のために(具体的に)	就学前の児童を保護者の様々な理由で保育できない家庭	
	誰(何)を対象として	公立保育所 3ヶ所	
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育に欠ける児童の養護と教育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	保育に欠ける児童の養護と教育を行い、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、公立保育所を設置し保育を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	保育所入所	延月人	2030	2126	2299	2256
	保育料徴収	千円	44272	51764	54817	47681
	保育所管理運営	千円	175942	194871	195370	196888
	子育て支援センターげんきの参加人数	人	1759	2202	-	-

3 投入資源

会計区分	一般会計		事業費単位:円					
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.524	0.537	102	0.499	93	0.436	87
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-
支出内訳	人件費	4,452,364	4,454,724	100	4,153,143	93	3,825,705	92
	事業費	176,012,403	194,944,209	111	195,448,430	100	196,967,000	101
	合計	180,464,767	199,398,933	110	199,601,573	100	200,792,705	101
財源内訳	国庫支出金	3,455,000	3,275,000	95	0	0	353,000	-
	県支出金	863,000	721,000	84	2,566,500	356	1,679,000	65
	市債			-		-		-
	その他	43,119,650	50,924,910	118		0		-
	一般財源	133,027,117	144,478,023	109	197,035,073	136	198,760,705	101
	合計	180,464,767	199,398,933	110	199,601,573	100	200,792,705	101

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延長保育・一時保育延べ利用者数								
指標説明(式)	延長保育延べ利用者数+一時保育延べ利用者数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1000	1020	102.0	1150	112.7	2150	187.0	
	実績	1001	1132	113.1	2136	188.7			
指標名2	公立保育所入所率								
指標説明(式)	年間延入所児童数/年間延定員								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	106	106	100.0	118	111.3	118	100.0	
	実績	103	107	103.9	116	108.4			

【効率性】

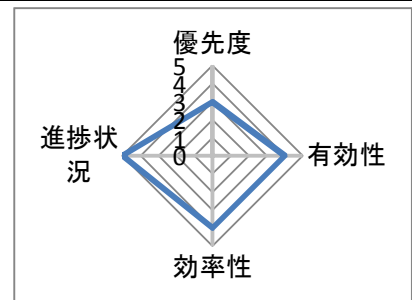
指標名1		児童1人当たりコスト							
指標説明(式)		年間事業量／年間延入所児数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	91079	91651	100.6	86525	94.4	87308	100.9	
	実績	86706	91695	105.8	85015	92.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市に子育てコーディネーターを配置し、保育所、事業団と綿密な連携のもとで実施し、利用支援に取り組んだ。待機児童はなく、目標は達成できている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	保育を必要とする対象児童に待機児童なく、事務処理ができています。	
効率性	手段の最適性	マニュアルに沿った事務であるが、電算処理を取り入れることにより事務処理時間の短縮に努めている。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度の導入により、サービスの向上、経費の削減を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	次世代育成支援後期行動計画の目標事業量(通常保育事業・延長保育事業・休日保育事業・一時預かり事業)は達成している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入所及び特別保育事業のニーズが増加傾向にあり、多様なサービスなどその役割は拡大している。行政と事業団との相互連携が一層必要となる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正等、保育所を取り巻く状況が変化している。子ども・子育て支援新制度に対応できるよう取り組む。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010102010200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	私立保育所運営事業		予算事業名	保育所等運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和
取組み事項		多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	就学前の児童を保護者の様々な理由で保育できない家庭					
	誰(何)を対象として	私立保育所 2ヶ所					
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育に欠ける児童の養護と教育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童福祉法に基づき、私立保育所に対し保育の実施に要する費用を支弁する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	保育所入所	延月人	1476	1510	1535	1584	
	保育料徴収	千円	25154	26486	26138	13673	
	私立保育所運営	千円	142519	143859	148800	133342	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.528	0.539	102	0.499	93	0.436	87	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	4,483,944	4,470,172	100	4,153,143	93	3,825,705	92	
	事業費	145,986,980	148,342,380	102	152,860,590	103	134,510,000	88	
	合計	150,470,924	152,812,552	102	157,013,733	103	138,335,705	88	
財源内訳	国庫支出金	52,103,820	51,771,655	99	53,215,170	103	53,713,600	101	
	県支出金	26,248,410	25,885,827	99	26,607,585	103	26,856,000	101	
	市債			-		-		-	
	その他	25,154,650	26,486,000	105		0		-	
	一般財源	46,964,044	48,669,070	104	77,190,978	159	57,766,105	75	
	合計	150,470,924	152,812,552	102	157,013,733	103	138,335,705	88	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所児童数							
指標説明(式)		年間延べ入所児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1440	1512	105.0	1680	111.1	1584	94.3	
	実績	1476	1510	102.3	1535	101.7			
指標名2		私立保育所入所率							
指標説明(式)		年間延入所児童数/年間延定員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	129	135.5	105.0	150.5	111.1	141.9	94.3	
	実績	132.3	135.3	102.3	137.5	101.6			

【効率性】

指標名1		児童1人当たりのコスト							
指標説明(式)		年間事業費／年間延べ入所児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	98364	100039	101.7	96240	96.2	84918	88.2	
	実績	98907	98240	99.3	99583	101.4			

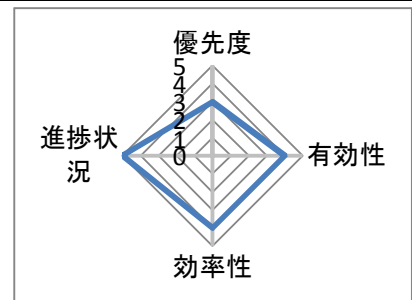
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	保育を必要とする対象児童に待機児童なく、事務処理できている	4
	成果目標(改善)達成度	市に子育てコーディネーターを配置し、保育所との連携を強化し、利用支援に取り組んだ。待機児童はなく、目標は達成できている。	
効率性	手段の最適性	マニュアルに沿った事務であるが、電算処理を取り入れることにより事務処理時間の短縮に努めている	4
	執行体制の効率性	保育所間との連携を取りながら事務処理を行っている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保育所定員の変更(増員)もされており、次世代育成支援後期行動計画の目標事業量(通常保育事業)は達成している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入所のニーズが増加傾向にあり、多様なサービスなどその役割は拡大している。行政と私立保育所との相互連携が一層必要となる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正等、保育所を取り巻く状況が変化している。子ども・子育て支援新制度に対応できるよう取り組む。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010102010300		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	私立保育所補助事業	予算事業名	特別保育補助事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)	子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和	
取組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童					
	誰(何)を対象として	保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	私立保育所の補助を行うことで、保育サービスの量の拡大及び質の確保を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	保育対策等促進事業を実施する私立保育所に補助金を交付し、多様な保育サービスの充実と質の向上を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	保育所入所	延月人	1476	1510	1535	1584
	延長保育延利用者数	人	4895	5582	5600	5600
	一時預かり事業延利用者数	人	253	239	305	310

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.195	0.168	86	0.147	88	0.146	99
	臨時職員	0.050	0.000	0	-	-	-	-
支出内訳	人件費	1,972,259	1,604,568	81	1,447,319	90	1,496,715	103
	事業費	13,183,000	13,420,000	102	14,314,000	107	15,892,000	111
	合計	15,155,259	15,024,568	99	15,761,319	105	17,388,715	110
財源内訳	国庫支出金	570,000	450,000	79	0	0	530,000	-
	県支出金	7,850,000	7,850,000	100	8,402,000	107	7,872,000	94
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,735,259	6,724,568	100	7,359,319	109	8,986,715	122
	合計	15,155,259	15,024,568	99	15,761,319	105	17,388,715	110

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延長保育・一時保育利用者								
指標説明(式)	延長保育+一時保育の延利用者								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5120	5170	101.0	5850	113.2	5910	101.0	
	実績	5148	5821	113.1	5905	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童1人当たりの事業費							
指標説明(式)		事業費/年間延入所児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10592	9939	93.8	9398	94.6	10033	106.8	
	実績	8932	8887	99.5	9325	104.9			

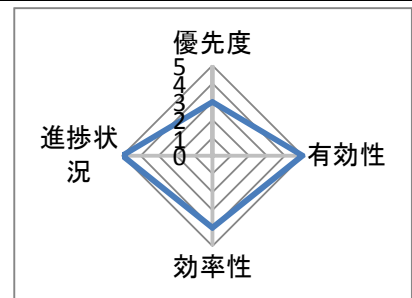
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	特別保育事業の利用者は増加し、保育対策の目標達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	保育を必要とする対象児童に待機児童なく、事務処理ができています	
効率性	手段の最適性	適正に負担している	4
	執行体制の効率性	保育所との連携を図りながら保育事業を行っている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	次世代育成支援後期行動計画の目標事業量(延長保育事業・一時預かり事業)は達成している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	親の多様なニーズに気づき、保育サービスを今後も充実させる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	平成27年度からスタート予定の子ども・子育て支援制度に対応できるよう取り組む。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010102010400	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	保育料軽減事業	予算事業名	保育料軽減事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	清水 直子
取組み事項		多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市保育所保育料軽減事業実施要綱、相生市認定こども園等保育料補助事業実施要綱、相生市私立幼稚園保育料補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	保育所、認定こども園、認可外保育施設、私立幼稚園に在籍する3歳児以上の児童を養育する保護者			
	誰(何)を対象として	児童に係る保育料の一部			
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育料を軽減または補助することで経済的負担の軽減を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		保育所、認定こども園、認可外保育施設、私立幼稚園等に在籍する3歳児以上の児童に係る保育料を月額8千円を限度に助成する				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	就学前児童数(3~5歳児)	人	730	711	699	686
	軽減等を受けている児童数	人	707	688	685	673
	助成を受けている児童数	人	261	247	265	266

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.247	0.188	76	0.120	64	0.116	97	
	臨時職員		0.050	-	0.020	40	0.040	200	
支出内訳	人件費	2,265,449	1,879,198	83	1,288,590	69	1,356,865	105	
	事業費	9,264,000	9,056,000	98	8,480,000	94	12,467,000	147	
	合計	11,529,449	10,935,198	95	9,768,590	89	13,823,865	142	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,529,449	10,935,198	95	9,768,590	89	13,823,865	142	
	合計	11,529,449	10,935,198	95	9,768,590	89	13,823,865	142	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		軽減等事業の該当率							
指標説明(式)		軽減等を受けている児童数/就学前児童数(3~5歳児)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標		97.5	-	98	100.5	98	100.0	
	実績	96.8	96.8	100.0	98	101.2			
指標名2		助成額							
指標説明(式)		保育所、認定こども園、認可外保育施設、私立幼稚園等に在籍する3歳児以上の児童を養育する保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		24,466,000	-	24,851,000	101.6	22,522,600	90.6	
	実績	22,557,000	21,379,000	94.8	21,744,000	101.7			

【効率性】

指標名1		教育委員会との連携							
指標説明(式)		就学前児童等の情報交換の回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	1	100.0	2	200.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	3歳以上の就学前児童の約98%が事業の対象となっており有効な事業である。	4
	市民サービス	保育料の負担軽減につながり、対象者の生活の質的向上が図られるとともに、就学前児童を早期に専門家による適正な保育の実施に繋ぐことができる。	
効率性	執行体制の効率性	子育て支援室が担当することで、教育委員会と連携し、就学前児童の状況が把握でき、効率的な執行体制である。	4
	負担割合の適正化	市立幼稚園保育料無料化と同等のサービスが3歳児以上の児童を養育する保護者に実施できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	3歳以上の就学前児童の約98%が事業の対象となっており、概ね計画通りに進捗している。	4

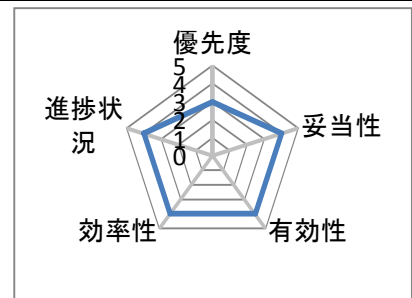
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	軽減事業等を受けていない世帯を減らす

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	在宅等で軽減事業を受けていない家庭を抽出し、子育て支援コーディネーターと連携し制度の周知及び支援を行う。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010102010600		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	放課後児童保育事業		予算事業名	放課後児童保育事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	西角 隆行	担当者名	岡部 一成	
取組み事項		多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者						
	誰(何)を対象として	保護者の就労等により日中保育できない小学校児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後家庭において両親又はこれに代わる者の保育に欠ける児童の健全育成を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後児童保育事業を実施し、放課後、家庭において、保育に欠ける児童を、保護者が帰宅する時間帯まで預かる。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	受け入れ学級	学級	6	6	6	6	
	受け入れ児童数	人数	124	138	154	180	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.568	0.568	100	0.568	100	0.460	81	
	臨時職員	0.048	0.048	100	6.280	13,083	12,500	199	
支出内訳	人件費	4,912,400	4,809,512	98	20,013,026	416	35,605,949	178	
	事業費	1,522,088	1,331,498	87	1,415,727	106	1,637,000	116	
	合計	6,434,488	6,141,010	95	21,428,753	349	37,242,949	174	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,920,000	4,292,000	87	4,037,000	94	10,027,000	248	
	市債			-		-		-	
	その他	6,480,000	8,340,000	129	8,784,000	105	7,920,000	90	
	一般財源	-4,965,512	-6,490,990	131	8,607,753	-133	19,295,949	224	
合計	6,434,488	6,141,010	95	21,428,753	349	37,242,949	174		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入級児童数							
指標説明(式)		児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	130	140	107.7	155	110.7	180	116.1	
	実績	124	138	111.3	154	111.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

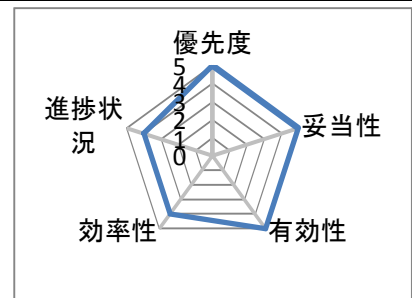
指標名1		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷受け入れ児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	124829	44390	35.6	40970	92.3	206905	505.0	
	実績	51891	44500	85.8	139148	312.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	開設基準をみたしている学校に対して児童保育学級が開設できた	5
	市民サービス	保護者の就労支援や保育に欠ける児童に対して有効である	
効率性	コストの節減	近隣市町との比較において、適正である	4
	手段の最適性	指導員及び指導補助員の適切な配置による運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	指導員及び指導補助員の確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童者数による指導員、指導補助員の適切な配置

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010102010800	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	認定こども園運営費補助事業	予算事業名	認定こども園運営費補助事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)	子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名 宮下 美和
取組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		認定こども園運営費補助事業要領			
事業の目的	誰のために(具体的に)	認定こども園に通園する児童及び保護者			
	誰(何)を対象として	市内認定こども園			
	意図(どのような状態にしたいのか)	認定こども園の設置の推進とともに、利用者の負担軽減を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		認定こども園の事業に要する費用の一部を補助する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	補助額	円		1515023	6835614	10241000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.049	-	0.048	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		306,936	-	693,993	226	709,677	102	
	事業費		1,515,023	-	6,835,614	451	10,241,000	150	
	合計		1,821,959	-	7,529,607	413	10,950,677	145	
財源内訳	国庫支出金			-		-	4,200,000	-	
	県支出金		1,515,023	-	5,439,114	359	621,000	11	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		306,936	-	2,090,493	681	6,129,677	293	
合計		1,821,959	-	7,529,607	413	10,950,677	145		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		1	-	1	100.0	2	200.0	
	実績		1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

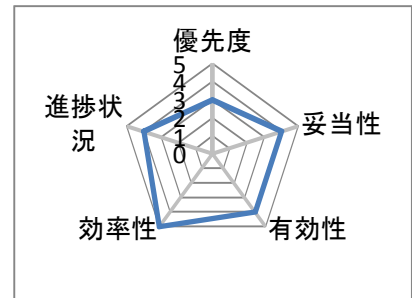
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	財政支援によって、安定的な運営を支援し、認定こども園の設置の推進とともに、利用者の負担軽減を図った。	4
効率性	負担割合の適正化	市内認定こども園1箇所、認定こども園運営費補助金を支出した。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の周知のため、保育所等へ情報提供を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	情報提供に努め、制度の活用を図るとともに、適切に補助金を執行する。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010102030100		事業の種類	2	
年度	25	事務事業名	保育所維持管理事業		予算事業名		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子育てと仕事が両立できるよう支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	宮下 美和
取組み事項		保育所の整備計画の検討を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生保育所増改築整備事業		民間保育所施設整備補助事業			
根拠法規及び関連法規		児童福祉法第24条、第56条、第51条 同施行令 同施行規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内保育所の設備等維持管理					
	誰(何)を対象として	市内保育所の児童・保護者・職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	保育施設の修繕・付帯設備の点検保守などの施設の維持管理を行い、児童に安全で快適な保育環境を提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保育施設の修繕・付帯設備の点検保守などの施設の維持管理を行い、児童に安全で快適な保育環境を提供する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	施設整備	千円	0	0	0		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.050	104	0.047	94	0.046	98	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	694,344	693,136	100	678,619	98	693,615	102	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	694,344	693,136	100	678,619	98	693,615	102	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	694,344	693,136	100	678,619	98	693,615	102	
	合計	694,344	693,136	100	678,619	98	693,615	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設整備費							
指標説明(式)		維持修繕費用							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	指定管理者制度により経年劣化による小規模な維持修繕は、指定管理者の役割分担としている。	3
	成果目標(改善)達成度	保育所の老朽化により整備が必要であるが、現在事業実施はない。	
効率性	コストの節減	指定管理者制度により役割分担しており、施設・設備にかかる市の執行はない。	3
	執行体制の効率性	指定管理者との連携を取りながら事務処理を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりやや遅れている。	3

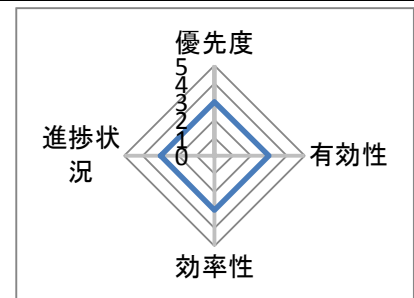
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	子ども達が安全に保育所での生活が送れるよう、施設の安全管理を徹底する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	指定管理者に、日々の安全管理の徹底を促すとともに、管理状況の報告を受け、改善策を講じる等、子ども達の安全確保に努める。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103010100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	要保護児童対策事業	予算事業名	要保護児童対策事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	牧野 さとみ
取組み事項		子どもへの虐待防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		児童虐待の防止等に関する法律 児童福祉法第22条・第23条 同施行令 同施行規則等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子ども虐待を受けた児童や非行児童などの要保護児童または要支援児童若しくは特定妊婦、配偶者のない子女等で監護すべき福祉に欠ける児童とその保護者					
	誰(何)を対象として	子ども虐待を受けた児童や非行児童などの要保護児童または要支援児童若しくは特定妊婦、配偶者のない子女等で監護すべき福祉に欠ける児童とその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもや家庭に関する相談に応じ、子どもが有する問題や置かれている環境等を的確にとらえ、早期発見やきめ細やかで適切な保護を図り、子どものみならず保護者も含めた家庭への					

2 事業の概要 Do

実施の概要		要保護児童の適切な保護や要支援児童等への適切な支援を図るため、関係機関が連携し、情報交換や要保護児童等の早期発見、早期支援を実施する。また、母子生活支援施設の入所や子育て家庭ショートステイ事業を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	実務者会議(実ケース)	回	11	10	18	20	
	ショートステイ事業	延べ人	0	0	2	0	
	母子生活支援施設	延べ人	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.191	0.182	95	0.243	134	0.256	105	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,823,329	1,712,704	94	2,185,271	128	2,380,125	109	
	事業費	37,259	32,465	87	53,427	165	216,000	404	
	合計	1,860,588	1,745,169	94	2,238,698	128	2,596,125	116	
財源内訳	国庫支出金	129,000	107,000	83	11,000	10	57,000	518	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,731,588	1,638,169	95	2,227,698	136	2,539,125	114	
合計	1,860,588	1,745,169	94	2,238,698	128	2,596,125	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実務者会議							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	10	50.0	20	200.0	
	実績	11	10	90.9	18	180.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		ケース管理人数							
指標説明(式)		年度末ケース管理人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
名	目標	9	9	100.0	9	100.0	15	166.7	
	実績	10	10	100.0	15	150.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	要保護児童家庭の児童等の早期発見・早期支援が図れた。	4
	成果目標(改善)達成度	要保護児童家庭の児童等の早期発見・早期支援が図れた。	
効率性	執行体制の効率性	要保護児童対策地域協議会を効率的に活用した支援体制の整備が図れている。	4
	手段の最適性	要保護児童家庭の児童等の早期発見・早期支援を図る上での最適手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

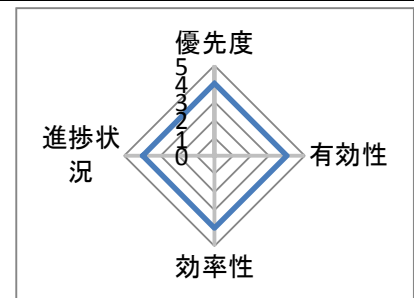
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	各関係機関との連携(役割分担を適切に行うこと)

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各関係機関との連携を深め、要保護児童対策地域協議会を効率的に活用する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103010200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	子育て家庭支援訪問事業	予算事業名	子育て家庭支援訪問事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する	担当課長	清水 直子	担当者名 牧野 さとみ
取組み事項		子どもへの虐待防止対策を推進する	実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	2歳の幼児のいるすべての家庭			
	誰(何)を対象として	児童及びその養育者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	育児期における親の孤立感を軽減し、育児不安を解消し、虐待を未然に防げるよう、子どものみならず保護者も含めた家庭への支援に取り組む。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		2歳の幼児のいるすべての家庭を訪問し、親の様々な不安や悩みを聞き、支援が必要なサービスにつながるとともに、関係機関での継続的な支援が可能となるよう総合的な子育て支援体制を整備する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	訪問件数	件	212	234	211	230
	要支援等対象児童	延べ人	65	41	85	70

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.093	0.086	92	0.104	121	0.101	97	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,049,619	971,200	93	1,116,778	115	1,135,320	102	
	事業費	621,000	702,000	113	633,000	90	750,000	118	
	合計	1,670,619	1,673,200	100	1,749,778	105	1,885,320	108	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金	750,000	702,000	94	633,000	90	375,000	59	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	920,619	971,200	105	1,116,778	115	1,510,320	135	
合計	1,670,619	1,673,200	100	1,749,778	105	1,885,320	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		要支援等対象児童割合							
指標説明(式)		要支援等対象児童/対象児童							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	30	150.0	
	実績	30	18	60.0	40	222.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

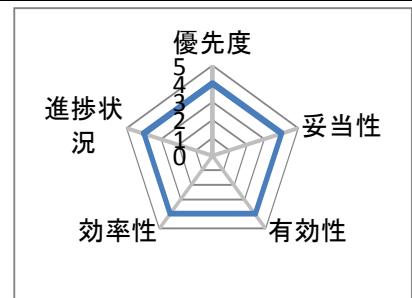
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	1歳半健診と2歳児歯科健診との間に訪問することで要支援家庭を的確に把握でき、虐待の未然予防や早期発見につながった。	4
効率性	執行体制の効率性	児童家庭支援センター「すずらん」に業務委託して実施している。	4
	手段の最適性	支援が必要な家庭を発見し、関係機関と支援の方向を協議しながら、適切なサービスにつなげた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	要支援家庭についての適切なフォロー



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	要支援家庭のフォローについて定期的なチェックを行う

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103010300	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業	予算事業名	こんにちは赤ちゃん事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子
取組み事項		子どもへの虐待防止対策を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		主要事業の指定			
実施計画事業名		無			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援の必要な家庭を早期に発見するため、生後4カ月を迎えるまでの全ての乳児のいる家庭を対象とする。			
	誰(何)を対象として	新生児訪問で訪問できなかった生後4カ月までの乳児のいる家庭が対象。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育ての孤立化を防ぐために、保護者の様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		生後4カ月までの乳児がいる家庭を訪問し、支援の必要な家庭の早期発見、子育ての孤立化を防ぐための相談、情報提供による子育て支援を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	訪問件数	件	72	71	55	50

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.076	0.044	58	0.077	175	0.056	73	
	臨時職員	0.129	0.159	123	0.144	91	0.159	110	
支出内訳	人件費	1,218,167	1,028,869	84	1,260,733	123	1,175,718	93	
	事業費	29,967	29,626	99	0	0	30,000	-	
	合計	1,248,134	1,058,495	85	1,260,733	119	1,205,718	96	
財源内訳	国庫支出金	160,000	160,000	100	77,000	48	106,000	138	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,088,134	898,495	83	1,183,733	132	1,099,718	93	
合計	1,248,134	1,058,495	85	1,260,733	119	1,205,718	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		こんにちは赤ちゃん事業訪問実施率							
指標説明(式)		訪問件数/こんにちは赤ちゃん事業訪問対象件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績	96	96	100.0	96	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

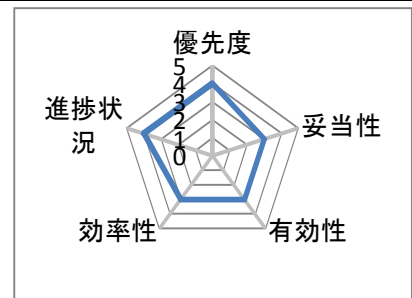
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	看護師(専門職)による訪問員が各家庭を訪問することで悩みや相談もしやすく、また、子育て情報も得やすい。	3
	市民サービス	予防接種が生後2ヶ月からのものがあるため、訪問時期を早めたことで周知がしやすい。	
効率性	手段の最適性	新生児訪問で訪問できなかった家庭の訪問であるため現在の実施日程、訪問内容で適当と思われる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	訪問時期を1ヶ月早くしたことで予防接種についての情報が周知できた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	専門的な知識をもった訪問員の確保

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103010400		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業		予算事業名		
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)	援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	坪田 知己	
取組み事項	子どもへの虐待防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域における全ての児童、市民					
	誰(何)を対象として	地域における全ての児童、市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童虐待等の通告先の周知や児童虐待に対する意識啓発を行い、地域で子どもを見守っていく力の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民への児童虐待に対する啓発を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	バス側面広告	台	6	6			
	啓発チラシ全戸配布	件	13000				

3 投入資源

		会計区分							事業費単位:円
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.107	0.104	97	0.108	104	0.096	89	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,160,149	1,110,232	96	1,147,526	103	1,095,165	95	
	事業費	1,265,128	659,610	52		0		-	
	合計	2,425,277	1,769,842	73	1,147,526	65	1,095,165	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,265,000	659,619	52		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,160,277	1,110,223	96	1,147,526	103	1,095,165	95	
合計	2,425,277	1,769,842	73	1,147,526	65	1,095,165	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		家庭児童相談室相談経路別件数							
指標説明(式)		近隣・知人からの相談件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標		30	-		0.0		-	
	実績	22	9	40.9		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

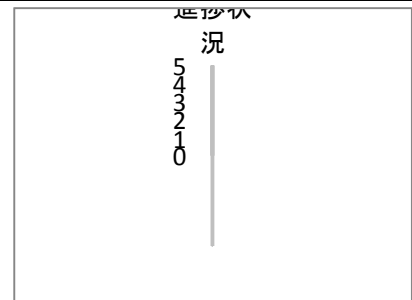
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地域住民への周知度の把握は難しいが、家庭児童相談室での児童虐待相談件数が増加したことで虐待に対する意識啓発、通告先の周知につながったと思われる。	
効率性	手段の最適性	2歳児訪問事業として、2歳児のいる家庭を訪問し、支援が必要が家庭に対し、専門スタッフが相談に応じ、必要なサービスにつなぐとともに、関係機関での継続的な支援を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画取りに進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	

配点	32.5
総合評価	#VALUE!

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103010500	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	家庭児童相談室運営事業	予算事業名	家庭児童相談室運営事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)	援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名 牧野 さとみ
取組み事項	子どもへの虐待防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市家庭児童相談室設置要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童養育上の諸問題をもつ家庭及び子育てを行うすべての家庭			
	誰(何)を対象として	児童及びその養育者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童を扶養または、監護している者の子育ての悩みに対して適切な援助し、適切な指導・助言を行い問題を解決していくことで、子どもが心身ともに健やかに生まれ育つ環境を整える。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	子どもを養育していく上での様々な悩み、心配事に対応する相談員を配置し、専門的な相談指導業務を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	相談件数	延べ人	601	563	148	200
	相談回数	延べ回	1635	1473	246	300

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.098	0.148	151	0.157	106	0.236	150	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,089,094	1,450,088	133	1,524,189	105	2,219,505	146	
	事業費	2,741,140	7,424,700	271	3,046,130	41	2,202,000	72	
	合計	3,830,234	8,874,788	232	4,570,319	51	4,421,505	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		5,340,900	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,830,234	3,533,888	92	4,570,319	129	4,421,505	97	
合計	3,830,234	8,874,788	232	4,570,319	51	4,421,505	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相談件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延べ件	目標	500	600	120.0	600	100.0	200	33.3	
	実績	601	563	93.7	148	26.3			
指標名2		相談回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延べ件	目標	1500	1600	106.7	1500	93.8	300	20.0	
	実績	1635	1473	90.1	246	16.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

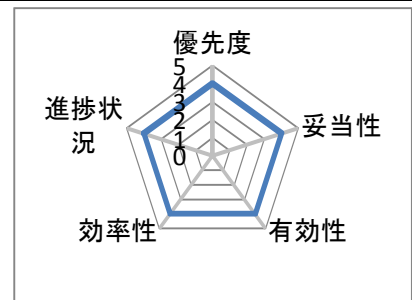
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要保護児童対策地域協議会で関係機関との連携を図り、支援の方向性を協議しながら相談業務を行っている。	4
	成果の向上	児童相談システムの導入により、統計の方法が変わったことにより相談回数、件数が減少した。	
効率性	手段の最適性	相談者の状況に応じて、母子自立支援員と協力し相談を受け、また関係機関と連携した対応が図られている。	4
	手段の最適性	児童相談システムの導入により、統計の方法が変わったことにより相談回数、件数が減少した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	家庭児童相談員2名が退職し、次年度から1名体制で新しく相談員が配置されるため引継が重要となった。また、子育て支援コーディネーターも相談業務を行う



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	保護者の精神的負担から疾病になり支援が必要な家庭が多く、より一層関係機関が連携を図る。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010103020100		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	母子家庭等交流事業	予算事業名	社会福祉総務費事務経費(子育て)	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	坪田 知己
取組み事項		ひとり親家庭の自立支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	母子(父子)家庭及び寡婦					
	誰(何)を対象として	母子(父子)家庭及び寡婦					
	意図(どのような状態にしたいのか)	母子家庭等及び寡婦の自立向上を図り、福祉を増進すると共に相互の親睦を図り、母子家庭等及び寡婦の社会参加を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		母子家庭等及び寡婦の自立向上を図り、福祉を増進すると共に相互の親睦を図ることを目的に設立された母子福祉団体の事業費を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	研修会・講習会開催回数	回	3	3	2	2	
	野外活動参加人数	人	48	44	46	45	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.084	95	0.112	133	0.111	99	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,010,144	955,752	95	1,178,274	123	1,215,630	103	
	事業費	555,000	350,000	63	350,000	100	350,000	100	
	合計	1,565,144	1,305,752	83	1,528,274	117	1,565,630	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,565,144	1,305,752	83	1,528,274	117	1,565,630	102	
合計	1,565,144	1,305,752	83	1,528,274	117	1,565,630	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		研修会・講習会参加者+野外活動参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0	50	33.3	
	実績	103	99	96.1	76	76.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

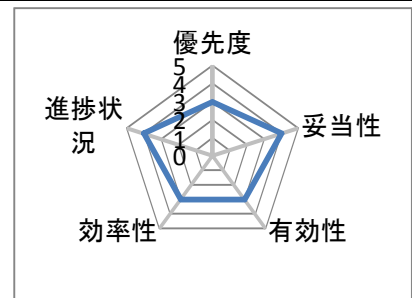
指標名1		参加者1人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/事業参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9870	9054	91.7	9310	102.8	31313	336.3	
	実績	15196	13189	86.8	20109	152.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	母子家庭等の社会参加が促進されている。	3
	市民サービス	母子家庭等が増加しており、事業への参加を図ることにより、母子家庭等のサービス向上を促進している。	
効率性	コストの節減	H19年度まで委託事業として実施していた野外活動を補助事業に統合することで、コスト削減を図っている。	3
	手段の最適性	母子家庭等の自立向上を図ることを目的とした団体活動を助成することにより手段の最適性が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	母子福祉団体活動について、窓口での案内に加え、広報によるPRなど、一層の情報提供が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各種情報提供により、母子福祉団体活動を広報し、母子福祉団体を支援する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103020200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	交通遺児激励事業		予算事業名	交通遺児激励事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	坪田 知己
取組み事項		ひとり親家庭の自立支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市交通遺児激励基金条例 相生市交通遺児激励金支給規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に引き続き1年以上住所を有する交通遺児					
	誰(何)を対象として	市内に引き続き1年以上住所を有する交通遺児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	交通事故により父又は母若しくは保護者を失った学校に修学する児童及び生徒に生活支援として激励金を支給する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		父母等保護者を交通事故により亡くした学校に修学する児童及び生徒に、激励金を支給している。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	支給件数	件	0	0	3	2	
	支給額	円	0	0	210000	160000	
	基金利子	円	66730	65224	13680	9000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.053	0.052	98	0.062	119	0.061	98	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	733,819	708,584	97	793,924	112	814,080	103	
	事業費	66,730	65,224	98	210,000	322	161,000	77	
	合計	800,549	773,808	97	1,003,924	130	975,080	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	66,730	65,224	98	13,680	21	9,000	66	
	一般財源	733,819	708,584	97	990,244	140	966,080	98	
合計	800,549	773,808	97	1,003,924	130	975,080	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		交通遺児激励事業							
指標説明(式)		支給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	2	200.0	
	実績	0	0	-	3	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

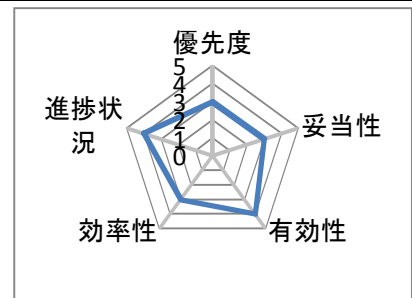
指標名1		基金利息額の事業費に占める割合							
指標説明(式)		基金利息額／事業費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.9	6.7	97.1	0.1	1.5	0.9	900.0	
	実績	8.3	8.4	101.2	1.4	16.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象となる交通遺児の激励ができる。	4
	市民サービス	交通事故により保護者を失った児童及び生徒の精神の激励が図れる。	
効率性	手段の最適性	4月に一時金として激励金を支給するため実施時期等は適正である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	事業の周知を図るため、PR方法を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	適切な対象者の把握に向け、ホームページにおいて情報提供を行う。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103020300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	母子寡婦福祉事業		予算事業名	母子福祉費事務経費	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する			担当課長	清水 直子	担当者名	坪田 知己
取組み事項		ひとり親家庭の自立支援をする			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		母子及び寡婦福祉法第8条、第9条、及び第31条等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	母子家庭及び寡婦						
	誰(何)を対象として	母子家庭の母及び寡婦						
	意図(どのような状態にしたいのか)	母子家庭及び寡婦の自立のに向けた生活支援や就業支援等の総合的な支援を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		母子自立支援員を配置し、対象者の相談に応じ、自立に必要な職業能力向上等の助言、情報提供及び支援等を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	相談指導回数	延べ件	144	93	246	250	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.075	85	0.097	129	0.096	99	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,010,144	886,236	88	1,062,969	120	1,095,165	103	
	事業費	906,360	745,550	82	905,331	121	968,000	107	
	合計	1,916,504	1,631,786	85	1,968,300	121	2,063,165	105	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金	21,600	24,500	113	19,500	80	25,000	128	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,894,904	1,607,286	85	1,948,800	121	2,038,165	105	
	合計	1,916,504	1,631,786	85	1,968,300	121	2,063,165	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		母子寡婦等にかかる相談件数							
指標説明(式)		延べ相談件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	180	150	83.3	150	100.0	200	133.3	
	実績	144	93	64.6	246	264.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		相談者1人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/延べ相談者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10796	12502	115.8	13430	107.4	8253	61.5	
	実績	13159	17546	133.3	8001	45.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相談支援業務において、関係機関と連携を強化し、相談指導回数が増加した。	4
	市民サービス	母子家庭等の自立、就労支援に対応した助言が行われている。	
効率性	手段の最適性	母子自立支援員の配置により迅速に相談業務等の対応ができた。	4
	執行体制の効率性	児童扶養手当支給業務との連携によりの確な支援が展開できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

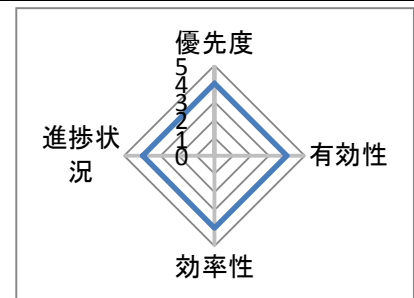
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	母子家庭等の自立に必要な就業能力向上等の助言・支援等を充実させる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	児童扶養手当支給業務との連携を図り、現況届時に未就労である者へ適切な助言・相談を行う。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010103020400	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	母子家庭自立支援給付金事業	予算事業名	母子家庭自立支援給付金事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)	援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名 坪田 知己
取組み事項	ひとり親家庭の自立支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市母子家庭自立支援教育給付金支給要綱 相生市母子家庭高等技能訓練促進費支給事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	母子家庭の母			
	誰(何)を対象として	母子家庭の母			
	意図(どのような状態にしたいのか)	自立のための職業能力の向上等を図り、母子家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	母子家庭の自立を促進し、資格取得を促進するため、母子家庭自立支援教育訓練給付金や母子家庭高等技能訓練促進費の支給を行っている。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	給付額	円	4230000	6326000	5743000	4242000
	自立支援教育訓練給付金支給件数	件	0	0	0	0
	高等技能訓練促進費支給件数	件	3	4	5	3

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.058	0.060	103	0.086	143	0.081	94	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	773,294	770,376	100	978,412	127	974,700	100	
	事業費	4,230,000	6,326,000	150	5,743,000	91	4,242,000	74	
	合計	5,003,294	7,096,376	142	6,721,412	95	5,216,700	78	
財源内訳	国庫支出金	741,000	1,362,000	184	4,607,000	338	3,181,000	69	
	県支出金	2,431,000	3,382,000	139		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,831,294	2,352,376	128	2,114,412	90	2,035,700	96	
	合計	5,003,294	7,096,376	142	6,721,412	95	5,216,700	78	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給件数							
指標説明(式)		自立支援教育訓練給付金支給件数+高等技能訓練促進費支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	5	166.7	4	80.0	3	75.0	
	実績	3	4	133.3	5	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

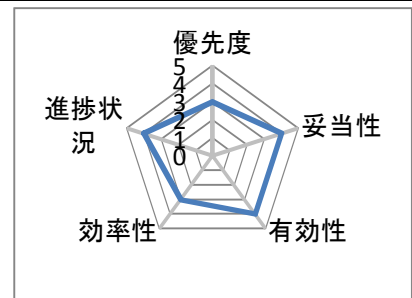
指標名1		相談件数							
指標説明(式)		母子自立支援員相談件数(資格取得・職業訓練)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	4	2	50.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	制度の周知を図るため、リーフレットを作成し、民生児童委員へ配布をした。	4
	成果目標(改善)達成度	就業に結びつきやすい資格取得に対し、当該費用の一部を助成することは、母子の自立を支援する方法として、有効である。	
効率性	手段の最適性	申請の段階で就労希望と助成対象の内容の整合性を把握し、適切に給付金の決定を行っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	滞りなく支給しており、概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	母子家庭の自立に向けての就業相談を通じて、就業能力向上のための指導や、就職活動に必要な情報提供等の就業支援の充実を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	母子自立支援員の相談業務と当該事業を結びつけ、母子家庭の母の就労を支援し、就労促進を図る。

配点	32.5
総合評価	23